

1年間ありがとうございました。



校長 柳 泰弘

卒業や進級まであとわずかとなりました。子どもたちは保護者の皆様や地域の皆様の支えでこの1年間、のびのびと、また安全に学校生活を送ることができました。

6年生は中学校生活の希望と期待で胸を弾ませていることでしょう。小学校で身につけたがんばる心やおもいやりの心などをいかし、立派な中学生になってほしいと思います。どの学年でも、個々の子どもの成長があります。この成長を認めて、ほめていくことが次の学年の学びにつながります。学習だけでなく、生活・友だち作りでも同じです。お子さんの成長の姿を学校・家庭・地域でともに喜び合いたいと思います。ありがとうございました。子どもたちの周りの人々、自然、すべてのものに対して感謝の気持ちでいっぱいです。



全校児童によるフリートーク活動

授業のユニバーサルデザイン研究会・和歌山大会

2月10日(金) 北は宮城県から南は沖縄県より120名を超える参会者を迎え、本校を会場に研究大会を開催いたしました。全校児童によるフリートーク活動をはじめ全学級の公開授業を見ていただきました。多くのお客さんに見守られながらも、子ども達はのびのびと自分の意見をのべ、日頃の活動の成果を発表することができました。

陳情書を提出いたしました。

先日、小川っ子を支援する会より町議会議長様・町長様に551名の皆様の署名を添えて陳情書を提出いたしました。3月議会で審議していただける予定です。

新入生・転入生歓迎いたします。 来年度の1・3年生は現在も0名となる公算が強いです。広報きみの3月号でも告知させていただきましたが、少人数の学校での授業、複式の授業を希望される場合は、町内の他校区からであっても、受け入れることが可能であるとの言葉を教育委員会よりいただきました。つきましては、そのような方がおられましたら、是非ご連絡お願いいたします。



「立春、あたたかい春はもうそこまで・・・」

校長 柳 泰弘

温かい地方からは、花がほころびはじめる便りもとどき、寒い季節の中にも、少しずつ春が近づいております。しかし厳しい冷え込みも続いております。子ども達の風邪やインフルエンザ等の心配もまだまだ予想されますので、ご家庭でも健康には十分なご注意をお願いいたします。

さて、学校もまどめの時期を迎え、学習活動全般により充実した指導につとめております。また、子ども達も、寒さに負けることなく毎日元気に体を動かしています。2月は節分の月でもあります。もともと、節分とは季節の分かれ目の意味であり、「立春」「立夏」「立秋」「立冬」のそれぞれの前日をさしていたようです。「節分」が特に立春の前日をさすようになった由来は、寒い冬から春になる時期を一年の境とし、現在の大晦日と同じように考えられたためであるといわれています。そして、節分に豆をまく行事は各地で行われています。もともと中国から伝わった風習といわれ、あわせて、節分に巻き寿司を食べる風習は、福を巻き込むという意味も込められているそうです。各地では寒い冬を上手に乗り切り、あたたかい春を迎える行事がたくさんあります。このように、季節を上手にとりいれて、生活をしていくのは日本の知恵のようです。学校でも、まどめの学習をしっかり行い、この寒さも元気に乗り切り、あたたかい春を子ども達と共に迎えたいと思います。



南京玉すだれ公演：紀の国一座の皆様と

署名活動へのご協力、ありがとうございました。

年末から年始のお忙しい時期にもかかわらず、区長様を先頭に地域の皆様方にお骨折りをいただいた陳情署名を集計させていただきました。総数 193 枚。551 名の皆様に署名していただくことが出来ました。このご厚意は、早速小川つ子を支援する会より町議会議長様に提出し、3月議会で審議していただけるよう、陳情させていただきます。

待望の転入生を迎えました。

1月10日（火）、3学期の始業式の日に入学生を迎えました。

1年生の R.N さんです。千葉県の柏市から、来てくれました。みんな大喜びで歓迎しました。福井のグループのお姉さんに手をつないでもらい、毎日元気に、集団登校しています。みんなとすぐ仲良くなり、全校でのドッジボールにも積極的に参加しています。

地域の皆様もどうかよろしくお願ひします。



校庭の遊具で仲良く遊ぶ1年生

新しい年のスタートにあたり。

校長 柳 泰弘



新しい年を迎え、地域・保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。旧年中は、小川小学校の教育活動全般にわたり、ご理解とご協力、そしてご援助を賜りましたことに心より厚くお礼申し上げます。

さて、一年の計は元旦にありと申しますが、ご家庭では今年の希望やめあてをどのように考えられたでしょうか。子ども達にも、是非、自分の今年の目標を考えてほしいところです。背伸びをしないで自分にあったものを目標として考えてほしいと思います。また、友達とくらべるものではなく自分自身でやりきれるということも大切にしてほしいです。

昨年、「絆（きずな）」が「今年の漢字」に選ばれました。東日本大震災や台風 12 号など大きな自然災害に見舞われた年でしたが、人とのつながりを大切に困難に立ち向かった年でもありました。また、「なでしこジャパン」の活躍に「絆」の力強さを感じさせてもらった年でもありました。

今年、小川小学校も、子ども達・保護者・地域の皆様そして職員が、チームワークを大切に心一つにがんばれる学校でありたいと願っています。

本年もどうかよろしく願い申し上げます。

新入生・転入生受け入れについて

10/4(火)、11/30(水)の夜、地域の皆様にお集まりいただき、組織作りについてのご意見をいただきました。それを受けて、12/6(火)に小川地区の区長会の皆様、小川の郷づくり会の会長様、小川小育友会長様、きみの定住を支援する会の事務局様にお集まりいただき、空き家情報の集約と今後の方針について話し合いをしていただきました。この間に小川地区への移住を希望される方も迎え、住居の提供が急務となっております。そこで、①町営住宅の建設 ②小川保育所の再開、の二点について、署名および



いきいきサークルの皆さんとの合唱（学習発表会）

陳情の活動をしていくことを決定していただきました。

つきましては、この学校便りを配布いただく時に、署名について趣旨説明の文書と署名用紙を同時に配布させていただきますので、是非署名活動にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。



紀美野町文化祭のステージ「アリとキリギリス」

みんな、生まれたときからプロじゃない 「できない」から全ては始まる(城島健司)

校長 柳 泰弘

子どものゆめ基金 10 周年記念の冊子『かがやく先輩からのメッセージ』という本をいただきました。冒頭の言葉はその中からの引用です。子どもの頃の体験談、家族や友だちの思い出、夢をつかむきっかけや子ども達への期待など、たくさんのメッセージのつまった本ですが、私には城島選手の言葉が心

に残りました。

今の子どもたちが口にしやすい言葉に、「ムリ」というのがあります。自分にとって気の進まない事には「ムリ」と言って初めから手をつけない。そんな風潮の中「できない」からこそやってみる価値があるという気持ちを大事にしたいと思います。また、その気持ちを育てるために、子ども達に「小さな成功体験」を積み重ね、「やればできる」という自信を持たせたいです。

地域の皆様の力をお借りし、本校が進めている様々な体験活動が、そのような力を育ててくれてい



紀美野町の宝物：全校児童で歴史にふれました。 : (11月30日)

「中世の村を歩く ー紀美野町の歴史と文化ー」 : 県立博物館

薬師如来立像 来ました。

(醫王寺) また、午後からは、紀伊風土記の丘で、開館40周年記念特別展：「大王の埴輪・紀氏の埴輪～今城塚と岩橋千塚～」を見学しました。

新入生・転入生受け入れについて

10月から11月末にかけて、定住支援の会のお世話で、千葉と東京から合わせて2件、学校見学に来ていただきました。まだ、住むところが確保されていませんが、それぞれ検討してくれています。また、「田舎暮らし応援県わかやま」というメールマガジンから情報を得て、「にんにこ被災者支援ネットワーク・和歌山」という団体にも協力をお願いしています。空き家等の情報がありましたら、是非学校までご連絡をお願いします。



<運動会・1・3・4年生親子競技>

「がんばれ！」は短縮形・・・。

校長 柳 泰弘

収穫の秋を迎えました。10月2日の運動会では、保護者の皆様をはじめ、老人会や公民館のサークルの皆様方など、地域の皆様にご参加・ご協力いただいたこと、あらためて御礼申し上げます。

11月は学校開放月間。17日(木)には授業参観もございます。多くの皆さんに学校を訪れていただきたくご案内申し上げます。

さて、12月18日に開催される町のマラソン大

会に向けて、本校でもマラソン練習が本格的にはじまりました。毎年この季節には、沿道に立って、汗を流して走っている選手に「がんばれ！」と声援を送ります。あるとき、選手に声援を送ったところ、ちいさく「がんばってるよ・・・」という声が返ってきたことがありました。本当にそのとおり、私は、がんばっている選手に、「もっとがんばれ!!」と命令していることになるのだろうか?と自問自答しました。でも、そうではない、と思い直しました。「がんばれ！」は短縮形なのです。「がんばれ！」を短縮せずに言うと・・・

「がんばってるね。あなたのがんばりに元気をもらいました。伝える言葉が他に見つからないので、この言葉を贈ります。がんばれ！」

台風12号災害義援金へのご協力ありがとうございました。

子ども達・保護者の皆様・地域の皆様から寄せられた金額は**34,438**円になりました。

お預かりした義援金は児童会の代表により、紀美野町役場に届けました。

少しでもお役に立てばと祈っています。

新入生・転入生受け入れについて考える会 : 10/4(火)夜、約50名の皆様にお集まりいただき



「考える会」が開催されました。保護者・地域の皆様にはご多忙のところお集まりいただきありがとうございました。この会を受けて、実際に活動する組織作りをしていくこととなりました。また、具体的に里親をつのってはどうかのご提案もいただきました。空き家・空き室の情報がありましたら、また、里親制度へのご質問等ございましたら、学校まで是非お知らせください。次回は下記の日程で組織作りを目指して開催いたします。

11月30日(水) 午後7時30分～ 小川小学校・多目的ホール



台風で被害を受けた那智大滝

台風 12 号の豪雨により、被災された方々に
心からお見舞い申し上げます。

校長 柳 泰弘

記録的な豪雨が紀伊半島を襲い、多くの方が犠牲になった台風 12 号。皆様のお家は無事でしたでしょうか？

紀南地方では学校にも被害が及び、小学校 4 校、中学校 3 校で校舎の 1 階部分が浸水し、多くの学校で運動場が浸水したり校舎の一部が破損したりなど大きな被害が出ています。

紀美野町では、被災された方々への支援活動として義援金箱を設置しています。小川小学校でも職員室前に募金箱を設置し協力させていただきたく思います。皆さまのご支援・ご協力をよろしく願いいたします。

(皆さまからの義援金は、日本赤十字社和歌山県支部を通じ、被災地の復興支援に役立てられます。)



昨年度の綱引きの様子

秋季運動会 : 皆様のお越しをお待ちしています。

「チーム一丸ベストをつくそう！」のスローガンのもと、子ども達は毎日、ラジオ体操や競技、応援合戦の練習に汗を流しています。練習中に体調を崩さぬよう、こまめに休憩をし水分補給に留意しながら、「耐える力をつけるのはこの時」と言うことも意識しながら、がんばっています。

昨年度は、地域の皆様方にも多数ご参加いただき、応援に競技に、運動会を盛り上げていただきました。今年も是非足をお運びいただき、楽しい秋のひとときをお過ごしください。

日時 : 10月2日(日) 午前9時00分 開会
場所 : 小川小学校運動場 (雨天決行:体育館)

新入生・転入生受け入れについて考える会のご案内

前号でもお知らせしましたように、本校では新入生・転入生を迎えるため、広く呼びかける活動をしたいと考えています。その第一歩として、保護者・地域の皆様にお集まりいただき、お知恵をお借りする会を開催いたします。是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 1 日時 : 平成 23 年 10 月 4 日(火) 午後 7 時 00 分～
- 2 会場 : 紀美野町立小川小学校 多目的ホール
- 3 内容 : (1) 小学校より、児童数の現状について
(2) きみの定住を支援する会より
(3) 情報交換



夏季研修会での5・6年生授業より

2学期も力いっぱい 校長 柳 泰弘

今年の夏は・・・に続く言葉を考えると、いろいろなことが思い浮かびます。まずは猛暑の中での節電、皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか？紀美野町でも毎日のように、熱中症への注意喚起を呼びかけてくれていました。また、世の中の動きは、政治・経済、それから被災された方の救済等、難題山積の様子です。子どもを巡る状況も、痛ましい報道が相次ぎ、無事に2学期を迎えられることを心よりありがたいことと、感謝しています。

8月8日の夏季研修会では、桂先生の示範授業で、5・6年生の子どもたちが大勢の先生方の前で、堂々と自分の考えや意見を発表し、多くの先生方からおほめの言葉をいただきました。

さて、今日から2学期、真っ黒に日焼けし、ひとまわりもふたまわりも大きくなった子どもたちが、元気に帰ってきてくれました。2学期はまず運動会、町文化祭、学習発表会、町マラソン大会等々大きな行事がたくさんあります。スポーツの秋、文化の秋、そして学習の秋も忘れてはならないでしょう。23名の全校児童が、それぞれの行事の中でお互いに協力し、成長していくのを楽しみにしています。

最後になりましたが、10月2日（日）の運動会では、今年も地域の皆様方に参加いただけるよう、ゲームなどを用意させていただいております。是非足をお運びいただきますようお願い申し上げます。



昨年度のおみやげなあに？

「おみやげなあに？」 出場者募集中です!!

□ 本年度の運動会の種目を考えていると、「おみやげなあに」の出場者がいないことを再確認することとなりました。保育園児の種目がなくなった事に加え、大変寂しいことです。

もし来年度の新入生が0名だった場合、学級は複式学級が2学級となり、規則により教頭・養護教諭・事務の3名の職員が減員される事になります。学校行事の運営や総合的な学習の取り組み、さらに本校で進めてきた自主研究の継続等を考えると、極めて厳しい状況です。

□ 様々な理由から、来年度進学すべき小学校を探している保護者の方もおられるのでは、と一縷の望みを託し、本校のホームページに「来年度新入生歓迎!!」の告知を掲載しました。

とはいえ、新入生を迎えるには、住むところや仕事の事など、整わねばならない条件があるだろうと思います。学校に出来ることは自ずと限界があるかと思いますが、もし、本校への通学を検討していただける方が現れましたら、サポートできる面はできるだけ努力をさせていただきたいと思っております。その節は、皆様の知恵とお力も是非お貸しいただきたくお願い申し上げます。



協力や責任の大切さを学びました

校長 柳 泰弘

暑い日が続きますが、地域の皆様・保護者の皆様はいかがお過ごしでしょうか？ 皆様方のおかげを持ちまして、1学期も無事に学期末を迎えることができましたこと、厚くお礼申し上げます。

さて、夏休みに入り約 10 日、子ども達は ほぼ

学校の運動場でのキャンプファイヤー (7/26) 毎日、サマースクールで学習に取り組み、プールで自分の記録を伸ばそうとがんばっています。

先生達も、8月8日に開催する夏季研修会に向けて、真剣に資料作成に取り組んでいるところです。私たちは夏休みは、単に休養を取ることにとどまらず、鋭気をたくわえる、自分で自分の可能性に挑戦する機会ととらえたいと考えています。

7月26・27日、今年の合宿は、本校校舎で行いました。1日目は1・3年生も水遊びやゲーム・キャンプファイヤーに参加。そして、4・5・6年生は夜の肝試しをし、校舎に泊まり2日目は俳句作りや竹工作をしました。プールではたらいやボールを使ったリレーなど、授業ではできない競技を考え、みんなで楽しみました。また、体育館でのゲームや、キャンプファイヤーの儀式・ゲームの進行などそれぞれに分担された役割を児童一人ひとりがしっかり果たせたと思います。自分たちで作った計画に従い自主的に活動する。集団宿泊体験を通して、協力や責任の大切さを学ぶこと等、合宿の目標を達成することができました。この合宿を通じ、子ども達が自分たち一人ひとりの良さを再発見するきっかけにしてくれたら、何よりのことと思います。



「じがうまくなりますように」

「プールで記録が伸びますように」

「地震や津波がおきませんように」

米作りを指導してくださっている西原右玄さんからいただいた笹の葉に、子ども達や先生の願い事を書いた短冊を飾りました。友達と仲良くすること、家族の健康を願った短冊もあります。子ども達の願いが、笹の葉の良い香りと共に多目的ホールに広がりました。

その中に「小川小学校がいつまでもなくなりませんように」3年生の子が書いてくれた短冊がありました。この子の「学校大好き」という気持ちにこたえ、「ことば」と「体験」を大切に、小粒でもピリリとスパイスのきいた学校でありたいと思います。

お が わ の子

校長 柳 泰弘



れ方を加減しているようです。

全校児童による田植えの様子(6月14日)

前号で紹介した、「いいことみつけの木」にも「1年生の〇〇ちゃんがボールを受けられた」など、ドッジボールでがんばっている子どものことが紹介されています。積極的にボールを取りに行くことで、どんどん上達し、上達するのをほめてもらえるので、また一段と上手になっているようです。ボールを投げるフォームも、なかなか迫力があります。

6月の初めに、ボールの使い方について児童会で話し合ったことがありました。「1年生が人気のあるボールを一人ずつ持って行って、自分だけで使うため他の人が使えないので、やめてほしい。」という内容でした。それで、ボールの使い方について、フリートークで意見を交換し、「学年でひとつずつボールを持つ」、「ボールは1週間交代にする」等、人気のあるボールをみんなが使える方法を考え出しました。

私たちは「**お**もいを伝える子、**が**んばる子、**わ**かり合える子」を目指す子どもの姿として、日々教育活動に取り組んでいるところですが、このような姿を見ると、自分たちの進んでいる方向の正しさが再確認でき、一層精進したいという意欲がわいてきます。

修学旅行 6月10・11日(金・土)



本年度も、紀美野町の小学校4校が3台の観光バスで合同の修学旅行を実施しました。小川小学校は野上小学校さんの一クラスと一緒にバスで参加しました。

1日目は法隆寺、東大寺、金閣寺、2日目は清水寺、銀閣寺、太秦映画村を見学しました。天候が心配されましたが、幸い大きな雨にあうこともなく、町内の6年生とも交流することができ、有意義な旅行となりました。



いいこと見つけの木

教頭 浦 貴子

児童会の提案で、友達の優しさや頑張っていることを見つけたら1枚の葉にそのことを書いて、多目的ホール前に掲示した木に貼っています。毎月、児童会役員が、葉の数を数えて集計し、「今月のいいこと大賞」を選びます。どんなことを頑張ったのか、どんなことをしてもらって嬉しかったのかを見る度に心が和みます。

「・・・君シャトルラン頑張っていたね」「・・・君 毛虫を取ってくれてありがとう」「・・・さん上り棒上手だね」「・・・さんお掃除がんばっていたね」「・・・年生のみんな朝のおそうじボランティアよくがんばってるね」「・・・さんお休みの日にもお花に水をやってくれてありがとう」「・・・君は、授業中意見をいっぱい言っていました」「・・・先生優しく教えてくれてありがとう」「・・・ちゃんが1年

生といっしょに歩いています」「・・・君がトイレのスリッパをそろえていました」「・・・君がはげましてくれました」「国語の時間に・・・ちゃんのことを意見にまとめて書いていました」「・・・君が、給食の食器を持ってくれました」・・・まだまだあります。

こんな調子で子ども達は、毎日友達の良いところを見つけています。教師も子ども達に負けてはいられません。相手の良いところを見つけて、ほめていると何かしら自分も気持ちよくなり元気になりそうな気がします。人にほめられるのは、何歳になっても同じように嬉しいことです。子どもと子ども、教師と子ども、教師と教師がお互いの良さを見つけ合い、少人数集団であることを生かした心温まる教育活動を続けようと思う今日この頃です。みんなのいいこと見つけをする心の葉が青々と増え続けることを願います。

スタート!新学習指導要領

万緑の中、23名の子どもたちは、健やかに学校生活を送っています。

さて、いよいよ新しい学習指導要領が全面実施となりました。「生きる力」を育むために「確かな学力」の基礎としての「言葉の力」を充実させようという動きが全国各地で重視されています。

小川小学校は、引き続き国語科を中心に研究を進めていきます。「話し合い活動の充実」「直接指導、間接指導の充実」「相互理解の深化」を実践課題として、フリートーク活動の充実、自主学習力向上を目指します。更に、子どもたちに「確かな学力」を身につけさせるために今まで培ってきた「言葉の力」を土台として各教科に於いて言語活動を充実させるよう努力したいと思います。

今年度は、夏と冬に学習会(研修会)を実施し、「複式授業の充実」を少し発展させて、楽しく「わかる・できる」授業にするため「全員が参加する授業の工夫」について研究を始める予定です。

保護者の皆様、地域の皆様、どうかご協力よろしくお願ひいたします。



わかばを見ると・・・

校長 柳 泰弘

木々の若葉が一段と鮮やかさを増し、さわやかな季節になりました。新しい学年が始まり、約1ヶ月が経ちました。5・6年生は少しずつお兄さんお姉さんの顔つきになってきました。3年生は初めて複式学級として4年生と同じ教室で勉強をします。教室の前と後ろに分かれて初めは戸惑いもあったようですが、そろそろ新しい学級に慣れてきたようです。

左の詩は中学年の教室に子どもの絵と一緒に貼ってあったものです。子ども達が生き生きと活動していると、本当にむねが晴れ晴れする思いです。今年迎えた待望の新生も、活発に活動し始め、学校内をいろいろと探検しているようです。

本校では今年度も、『**しっかり動き、じっくり学び、みんなで育つ**』を合言葉（学校目標）に、子ども一人ひとりに確かな学力・体力・人間力をつけたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様、どうかご協力よろしく申し上げます。

わかばを見ると
むねが晴れ晴れする。
ほくらふをこもほわこほ
人間のわかば。
天がほら。
あんなに晴れ晴れしている。
ほくらふをこもほわこほ。

前期児童会役員の抱負

会長(絵菜さん):

私は、会長になって頑張りたいことは、この学校は人数が少ないので一人ひとりが仲良くできるようにしたいし、楽しく勉強できるようにしたいです。6年生として、会長として他の子達を引っ張っていき、学校行事を成功させたいです。

副会長(真賢君):

みんなと協力して運動会や文化祭などの行事を成功させたいです。何事にも真剣にやりたいです。そのために会長や書記といっしょに計画を立ててがんばりたいです。副会長としてみんなをまとめていきたいと思います。

書記(安加里さん):

私は、学級を明るくしたり、みんな仲良くしたり、全校のみんなが仲良く元気に外で遊べるようにしたいです。そのために、けんかがあったら止めたり、ひとりで遊んでいる子がいたら「いっしょに遊ぼう」と声をかけてあげたいです。困っている子がいたら相談にものってあげようと思います。会長や副会長といっしょに仕事をがんばります。

他にも、体育・図書・給食保健・掲示美化委員のみんなが活動を開始しました。

高学年の活躍に期待しています。

チーム小川！ みんなで力をあわせて・・



校長 柳 泰弘

東日本大震災による未曾有の大きな被害、そして原発事故後の今なお予断を許さない状況が連日報道されています。私たちの想像をはるかに超える状況は決して他人ごとではなく、被害に遭われた方々のことを思うと本当に胸がつか

(お別れ遠足・日高港新エネルギーパーク)

ります。しかしまた、悲惨な境遇や不自由さに負けず助け合いながら生活している大人や子

どもたちの姿に、人間の強さやたくましさ、優しさを感じ、熱いものがこみあげてきます。本校の子どもたちとも、普通に生活できることへの感謝の気持ちを忘れず、今、自分たちにできることをしようと話し合っています。

そのような中、桜のつぼみがふくらみ始めた去る3月18日、在校生や卒業生保護者のみなさん、地域の代表の方々を含む13名の来賓の方々に温かく見守られながら、6名の6年生が、晴れやかな笑顔で卒業していきました。これからも、小川小学校で学んだことを力に、広い世界でいろんな人と出会い、仲間をつくり、自信を持って自分の人生を歩んでいってほしい、心からそう願っています。

そして、4月11日、4名の新入生が入学します。

智輝くん・翔麻くん・輝幸くん・歩実ちゃん

全校児童23名、卒業生から渡されたバトンを受け継いで、これからの一年、新1年生や一つ学年が上がる在校生たちがどんな成長を見せてくれるのか、本当に楽しみです。職員構成も新しくなりました。また心機一転、「しっかり動き、じっくり学び、みんなで育つ」を合言葉に、子どもたち、そして全職員が力を合わせて精一杯がんばっていきたいと思います。保護者のみなさま、地域のみなさま、今年度もご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。